

笠谷政弘さん瑞宝単光章受章

永年にわたり、災害防止に貢献した元上ノ国町消防団副団長の笠谷政弘さん（字汐吹）が、瑞宝単光章を受章されました。

笠谷さんは、昭和29年から54年間にわたり消防団員として職務遂行に邁進し、幾多の災害に出動するなど第一線に立って災害の防止と被害の軽減に尽力。上ノ国町消防団の名声を高め、地域住民の信頼に応えたことが評価されました。

この度の受章誠におめでとうございます。



水難人命救助のため！ 上ノ国救難所訓練大会実施

水難事故発生時の救助技術の向上を図るため、日本水難救済会上ノ国救難所（市山亮悦所長）主催による訓練大会が、8月7日に汐吹漁港で実施されました。

大会には、所員26人が参加し、所長から「海難防止の啓蒙をこれから継続して行っていきたい。」と訓辞が述べられた後、150人が先に溺れている人がいることを想定し、「救命索発射操法訓練」を実施。参加した所員は、一つ一つの動作を確認しながら、的確に訓練に取り組んでいました。



新たな作物の定着に向けて 「さといも栽培」

町内で栽培している「さといも」の実証経過と今後の課題について検討するため、農業改良普及センターなどの関係機関職員22人が参加し、8月18日に刀祢哉さん（字木ノ子）のは場で、現地検討会が行われました。

この検討会では、平成21年度から檜山に適した新たな戦略作物の導入に向けた実証試験の視察を行っており、参加者は「いろいろ課題はあるが、労力もかからず町の気候に向いている作物なので、今後も拡大していきたい」と話していました。町では、新たな作物が定着することに期待しています。



農地確保と有効利用のために 「農地パトロール」を実施

農業委員会では、耕作放棄地の新たな発生を防ぎ、農地の利用状況を把握するため、8月19日に9人の委員が出席し農地パトロールを行いました。

この利用状況調査の結果をもとに、委員会では遊休農地の所有者に対する指導の対応について協議するとともに、耕作放棄の状況や遊休農地所有者の意向を踏まえた耕作放棄地解消計画を策定し、その解消対策について関係機関と協議しながら委員会一丸となって取り組んでいきます。

